

# 始動・ネットワークとしての協働

## 彦根保護区保護司会

彦根保護区では、休眠預金活用事業の実施に向け、更生保護関係4団体（保護司会・更女会・BBS会・協力雇用主会）で彦根保護区更生保護ネットワーク協議会を設立、かねてより4団体で進めてきた更生保護思想の共感共有段階から実質的な協働段階に移りました。

「団らん」をキーワードに「食」の提供等を交えた「居場所」と調理、育苗、収穫、運営ボランティア体験等の「出番」の提供を考え、初回は「餅つき大会（書道パフォーマンスや音楽ライブ）」を開催し、近所の子供や大人、障害者、保護観察対象者も含め約80名の参加となりました。残念ながらその後は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け自粛を余儀なくされ、後に続く「みんなでひな祭り」「手作りうどん」等のイベントは、中止若しくは開催待ちとなっています。

しかし、自粛期間を運営側の研修・準備期間と捉え、SNSを利用した①リモート研修・会議 ②手作りマスク作成方法の拡散 ③イベント計画案作成などと並行して備品の購入、収納倉庫の設置も進め、自粛解除後即座に活動できるよう意識と体制を整えつつあります。さらに、年間を通しての活動フィールドとして、耕作放棄地を借り受けて野菜の育成から収穫調理までを行うための準備も進めています。

自粛解除後には、利用者の中から将来、実際の事業運営を担う人材の育成に併せ、地域社会に潜む問題や「生きづらさ」を抱える者を掘り起こし、地域の行政や関係機関を巻き込みながら、当事者のニーズに応じた支援（生活困窮、虐待、薬物依存、学習・就労、その他生活の困り事に対する他機関への橋渡し等）に展開してまいります。



餅つき大会



彦根BBS会イベント



今後も、更生保護団体が実施する、休眠預金活用事業の概要について紹介してまいります。